

令和4（2022）年度
自己点検・評価報告書
（抜粋）

鎌倉女子大学幼稚部

第2章 幼稚部 自己点検・評価

1. 教育目標

1-①	・建学の精神に基づいて教育目標を設定し、教育活動その他の園運営を行っているか。
2022年度の 取組目標	・異年齢の子どもたち同士の交流がより豊かなものとなるようにする。
達成状況	A：十分達成 B：概ね達成 C：やや未達成 D：未達成
達成状況の 理由 (目標に対 する取組内 容と成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、予定していた交流活動が十分にできなかった面もあったが、密にならないようにしたり、時間差をつけたりするなどの工夫をしたことで、コロナ禍であっても、交流を行うことができた。 ・運動会の中で、共に競技を行ったり、発表会を見合ったりするなどして、互いに良い刺激を受けられるようにした。普段の活動の中でも、ごっこ遊びの中で交流する場面を作るようにしたことで、それぞれの学年に、交流の良さを味わえるようにすることができた。
今後の課題	・新型コロナウイルス感染症が収まったら、教員が計画していなくても、子ども同士が自然に交流できるような遊びや、場や、時間などの工夫を行っていく。
2023年度の 取組目標	・すみれクラス、たんぽぽクラスの子どもたちと園児が、互いに成長しあえるような環境を作り、実践していく。

1-②	・幼稚部の状況を踏まえ、重点化された中・短期の目標が定められているか。
2022年度の 取組目標	・新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策をしながらも、それぞれの学年の教育が、より充実したものとなるように、全教職員で支え合って保育を行う体制をとる。
達成状況	A：十分達成 B：概ね達成 C：やや未達成 D：未達成
達成状況の 理由 (目標に対 する取組内 容と成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・密になることを避けるために、室内だけではなく、戸外での活動をそれぞれの学年に積極的に取り入れたことで、教育活動の場をより広げることができ、充実させることができた。 ・戸外活動では、全教職員で助け合い、岩瀬キャンパス内の敷地を有効に使ったり、園バスを使って出かけたため、子どもたちも、より豊かな経験をすることができた。
今後の課題	・たんぽぽクラスも園庭を使うことになるため、どのクラスの園庭での活動も、より充実したものとなるように、遊びの内容、材料、遊び方などについて、全職員で話し合い、協力し合っていくようにする。

2023年度の 取組目標	・幼稚部の教育が、より良いものとなるように、室内外の環境を改めて見直し、互いに育ちあう環境を作る。
-----------------	---

2. 教育課程

2-①	・教育目標を踏まえて教育課程が編成・実施され、その考え方について教職員間で共有されているか。
2022年度の 取組目標	・コロナ禍ではあっても、可能な限り学年ごとの交流を行い、連続性がスムーズになるようにする。 ・自分の担当する学年の姿を適切に把握し、責任を持って保育にあたる。
達成状況	A：十分達成 B：概ね達成 C：やや未達成 D：未達成
達成状況の 理由 (目標に対する取組内容と成果)	・全職員で新型コロナウイルス感染症予防をしながら、運動会、作品展、発表会などの、大きな行事を中心とした交流ができたことで、学年ごとの連続性も、スムーズに取れた。 ・各学年のリーダーがまとめ役となって、新人を育てながら、教職員全員で保育を進めていったことで、どの職員も責任をもって保育に当たることができた。
今後の課題	・クラスでの活動の姿と、預かり保育での子どもの姿を、職員同士が互いに共有しあうことで、子どもの成長が、よりスムーズにいくようにする。
資料	【資料2-1】 幼稚部教育課程 【資料2-2】 3歳児教育課程 【資料2-3】 4歳児教育課程 【資料2-4】 5歳児教育課程
2023年度の 取組目標	・すみれクラス、たんぽぽクラスから、年長組に至るまでの子どもの育ちがスムーズにいくよう、預かり保育も含めて、互いの保育活動の内容を教職員間で共有できるようにする。

2-②	・教育課程の実施に必要な年間の指導計画や週案などが適切に作成されているとともに、教育週数、1日の教育時間が適切に確保されているか。
2022年度の 取組目標	・コロナ禍ではあっても、教育時間を適切に確保しながら、より質の高い教育内容となるように努力する。
達成状況	A：十分達成 B：概ね達成 C：やや未達成 D：未達成
達成状況の 理由 (目標に対する取組内容と成果)	・コロナ禍であっても、学期ごとの保育時間を延長するなどの調整をしたため、教育時間を適切に確保することができた。 ・コロナ禍であってもできる内容を、常に教職員間で話し合い、吟味をしたことで、教育内容を充実させることができた。
今後の課題	・各学年の週案作成をする際の時間が不足することがあるため、意識して時間を確保していくようにする。

資料	【資料2-5】年間保育日数 【資料2-6】1日の保育時間
2023年度の 取組目標	・各学年の週案を作成する際の話し合いで、振り返りをしっかり行い、次週に生かしていくなどして、日々の保育内容が、より充実したものとなるようにする。

3. 指導

3-①	・幼稚園教育要領の内容や学則にのっとり、幼稚部全体として、園児の発達段階に即した指導が適切に行われているか。
2022年度の 取組目標	・子どもの安全と健康を守ることを第一としながら、教育の質を高めてより一層の充実を図る。
達成状況	A：十分達成 B：概ね達成 C：やや未達成 D：未達成
達成状況の 理由 (目標に対する取組内容と成果)	・保護者と共に新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をしながら、感染を広げることなく、コロナ禍でも行える活動を、可能な限り実践していったことで、子どもたちの成長を促す教育活動を充実させることができた。 ・運動会、作品展、発表会などの行事の中を通して、保護者の方に子どもの成長した姿を見る機会を提供することができた。
今後の課題	・園児の発達に即した指導が適切に行われているか、週案作成や、教職員の打ち合わせの際にも、意識して話題にし、実践に生かしていくようにする。
2023年度の 取組目標	・各学年で週案を提出しあうだけでなく、それをもとに、教職員全体で話し合う時間も取るようにして、幼稚部全体としての指導が適切に行われるようにする。

3-②	・日々の保育において遊具・用具の活用が図られているか。
2022年度の 取組目標	・子どもの興味や関心を適切に把握し、必要な物は速やかに取り入れていく。
達成状況	A：十分達成 B：概ね達成 C：やや未達成 D：未達成
達成状況の 理由 (目標に対する取組内容と成果)	・子どもの興味や関心があることについては、日々の打ち合わせの際に意識して話題にしていったことで、全体で共有して把握することができた。 ・保育の中で必要な物があれば、速やかに取り入れる体制を、教材係を中心として取ったことで、購入もスムーズに行うことができ、遊具や用具の活用を図ることができた。
今後の課題	・園庭の遊具や用具の安全点検を、日々確実にできるように、保育後の園庭点検の仕方を全体で見直すようにする。
2023年度の 取組目標	・園全体で、保育前と保育後の遊具や用具の点検を確実にを行い、安全に活用できるような体制をとる。

3-③	・園行事が適切な管理体制及び教職員全体の協力体制の下に実施されているか。
2022年度の 取組目標	・保護者の理解と協力を得ながら、子どもの発達をより促す行事を実践する。
達成状況	A：十分達成 B：概ね達成 C：やや未達成 D：未達成
達成状況の 理由 (目標に対 する取組内 容と成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍ではあったが、感染を広げることなく、子どもの発達を促す行事を、可能な限り実施することができた。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止対策をしっかりと取りながら、保護者が安心して行事を見ることができるよう配慮したことで、行事後のアンケートでは、保護者の高い満足度が伺えた。
今後の課題	・新型コロナウイルスの感染が収束してからの行事をどのようにするか、全職員で十分に話し合い、更により良い形で実施できるようにする。
資料	【資料3-1】園行事 【資料3-2】クラス担任
2023年度の 取組目標	・コロナ後の行事の在り方を、全教職員で見直し、子どもにとって、更に有意義な行事が行えるようにする。

3-④	<ul style="list-style-type: none"> ・併設校3部の連携・協力のための取組がなされているか。 ・幼小連携など園・学校間の円滑な接続を図るための取組が行われているか。また、中・高等部との連携に関する取組がなされているか。
2022年度の 取組目標	・互いに有意義な交流となるよう、交流の在り方を探り、吟味して実施する。
達成状況	A：十分達成 B：概ね達成 C：やや未達成 D：未達成
達成状況の 理由 (目標に対 する取組内 容と成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度は、コロナ禍でほとんど連携した取り組みができなかったため、新型コロナウイルスの感染状況を把握しながら、以前の取り組みを十分に見直して、より良い形で再開させていくようにする。 ・そのための打合せをしっかりと行い、その取り組みが、どちら側にも有意義なものとなるようにする。
今後の課題	・日々の園児の活動の流れを大切に、園児に無理のない形で連携した取り組みを行うようにする。
資料	【資料3-3】卒園児進学先 【資料3-4】併設校との連携
2023年度の 取組目標	・併設校との連携した取り組みが、幼稚部にとっても意義あるものとなるように打ち合わせを十分に行い、互いにより良い内容となるようにする。

3-⑤	・大学（鎌倉女子大学・鎌倉女子大学大学院・鎌倉女子大学短期大学部）との連携に関する取組がなされているか。
2022年度の 取組目標	・新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、交流の方法を吟味し、互いに有意義な交流ができるようにする。
達成状況	A：十分達成 B：概ね達成 C：やや未達成 D：未達成
達成状況の 理由 （目標に対する取組内容と成果）	・実習生や、スタートアップセミナーなどの学生は、すべて受け入れることができたが、新型コロナウイルスの感染状況から、受け入れが後半に集中してしまった面があったため、幼稚部の方が忙しくなり、大変な時期があった。
今後の課題	・初等教育学科、児童学科など、それぞれで、既に計画された内容が幼稚部に伝えられてくる場合があるため、計画される前に日程調整をしあってから、進めていけるようにする。
資料	【資料3-4】併設校との連携
2023年度の 取組目標	・より良い時期に、それぞれの取り組みができるように、早めの打合せを持てるようにしていく。

4. 保健管理

4-①	<p>・法定の学校保健計画が作成され、園児の保健管理、保健教育が適切に実施されているか。</p>
2022年度の 取組目標	<p>【幼稚部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策の具体的なお願いを必要に応じてするなど、家庭と連携をして、感染予防に努め、保育活動が充実したものとなるようにする。 ・毎日の登園時には、マスク着用の上、本人や家族の体温などを記入した健康観察カードの提出を徹底させる。 ・熱はなくても、普段の体調と違う場合は、登園は控えさせる。 ・休んだ後に、登園を再開する場合は、病院の診断に沿って判断してもらうようにする。 <p>【保健センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食物アレルギーの緊急時対応研修及び園児の健康課題に即した応急処置の職員研修を実施する。 ・「学校の新しい生活様式」を遵守し、職員間の新型コロナウイルス感染症対策の再確認を行う。園児・保護者に対しても周知し、感染症予防及び感染拡大防止の協力を求める。
達成状況	<p>【幼稚部】 A：十分達成 B：概ね達成 C：やや未達成 D：未達成</p> <p>【保健センター】 A：十分達成 B：概ね達成 C：やや未達成 D：未達成</p>
達成状況の 理由 (目標に対する取組内容と成果)	<p>【幼稚部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日の登園時には、健康観察カードに本人や家族の体温などを記入したものを提出してもらい、忘れた場合は登園できないなど対応を徹底した。熱はなくても、本人や家族の体調が普段とは違っている場合は、登園させないなどの協力をえて、幼稚部内での新型コロナウイルス感染症を広げないようにすることが出来た。また、休んだ後に登園する際には、病院の受診結果の報告をお願いしたことで、保育活動を安全に、新型コロナウイルス感染症を広げることなく進めることが出来た。 <p>【保健センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育室での発生を想定した食物アレルギーの緊急時対応研修では、アクションカードに従い役割分担を行い、消防への連絡やエピペンの使用、AEDの準備、救急隊の動線の確保等についてロールプレイを通して確認した。 ・「学校の新しい生活様式」に則り、新型コロナウイルス感染症対策に取り組んだ。欠席状況や地域の流行状況を踏まえて適宜感染対策の確認を行い、保護者には保健日より新型コロナウイルス感染症拡大防止対策への協力を求めた。園内巡視では個々に手洗いを指導した。
今後の課題	<p>【幼稚部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々なウイルスによる感染症予防だけでなく、暑さ対策もしっかり行って、子どもが疲れすぎないようにし、子どもの免疫力を高めていけるような保育活動を意識的に進

5. 安全管理

5-①	<ul style="list-style-type: none"> ・法定の学校安全計画が作成され、適切に実施されているとともに、園事故や不審者の侵入等の緊急事態発生時に適切に対応できるよう、危機管理マニュアル等が作成され、活用されているか。また、園舎や通園路等の安全点検や教職員・園児の安全対応能力の向上を図るための取組が定期的に行われているか。
2022年度の取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・改修工事や新型コロナウイルス感染症から、園児の安全を守り、保育活動がスムーズに進んでいくようにする。
達成状況	A：十分達成 B：概ね達成 C：やや未達成 D：未達成
達成状況の理由 (目標に対する取組内容と成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・常に家庭の協力を得ながら、全教職員で注意事項を共有しあい、みんなで守りあったことで、改修工事や新型コロナウイルス感染症からも、子どもの安全を守って保育活動を無事に進めることができた。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・大きな子どもの怪我はなかったが、保健センターの情報から、小さな怪我が起こりやすい状況を把握することができたため、今後に活かしていくようにする。
資料	【資料5-1】学校安全計画 【資料5-2】危機管理マニュアル
2023年度の取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが安全に遊べる環境となっているのかを、日々保育をしながら、全教職員で意識して確認をする習慣をつける。

5-②	<ul style="list-style-type: none"> ・学校防災計画等が作成され、適切に実施されているか。
2022年度の取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・有事における安全確保のための基本行動を周知させるため、引き続き防災訓練を実施する。 ・岩瀬キャンパス全体での防火対象物点検・防災管理点検（法定点検）を継続して実施し、行政機関への報告を行う。
達成状況	A：十分達成 B：概ね達成 C：やや未達成 D：未達成
達成状況の理由 (目標に対する取組内容と成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚部独自の避難訓練を9回、岩瀬キャンパス全体の防災訓練を2回実施。更に防災訓練内で消火器取扱い訓練を行った。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、訓練の際に消防署の立ち合いを行わない方針が鎌倉市から出されていたため、すべての訓練は立会いのない自主訓練の形式で実施した。避難訓練については、感染防止を意識しながらも園児に非常時の行動を理解させるため、多くの回数を実施することができた。 ・保護者対象の行事として、引取訓練を1回行った。 ・それぞれの訓練において、園児や保護者、そして教職員が安全確保のための基本行動

	<p>を再確認することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩瀬キャンパス全体で防火対象物点検・防災管理点検（法定点検）を実施し、行政機関への報告を行った。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な場面を想定し、併設校各部や総務課、施設管理課、管轄消防署等と相談を行いながら、有事に対応できるような活動を今後も継続する。 ・昨年度夏に中・高等部校舎が南グラウンド敷地内に移転したが、岩瀬キャンパス全体として、初等部や中・高等部と連携した安全行動や災害時用備蓄品の管理等を引き続き行っていく。
資料	【資料5-3】避難訓練実施日
2023年度の 取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・有事における安全確保のための基本行動を周知させるため、引き続き防災訓練を実施する。 ・岩瀬キャンパス全体での防火対象物点検・防災管理点検（法定点検）を継続して実施し、行政機関への報告を行う。

6. 組織運営

6-①	・部長（園長）など管理職は、適切にリーダーシップを発揮し、他の教職員から信頼を得ているか。
2022年度の取組目標	・新次長が、園務を適切にこなし、教職員との関係もスムーズに進めていけるように、部長（園長）として支えていく。
達成状況	A：十分達成 B：概ね達成 C：やや未達成 D：未達成
達成状況の理由 （目標に対する取組内容と成果）	・教職員たちは、普段は自主的、意欲的に仕事を進め、困ったり、悩んだりした際は、必要に応じて相談し、解決しようとする姿勢を示していたため、教職員からの信頼は得ているように感じている。
今後の課題	・次長と教職員との関係が、もう少し深まるように、教職員が部長（園長）と相談している際は、次長も話し合いに参加するように意識して場を作る。
2023年度の取組目標	・次長が、教職員からより信頼されていくように、次長の立場を、これまでよりも強くし、力を発揮してもらう。

6-②	・園務分掌や主任制が適切に機能するなど、組織的な運営・責任体制が整備されているとともに、職員会議等が園運営において有効に機能しているか。
2022年度の取組目標	・新次長の下、温かい雰囲気の中で、互いに協力し合える職員体制をつくる。
達成状況	A：十分達成 B：概ね達成 C：やや未達成 D：未達成
達成状況の理由 （目標に対する取組内容と成果）	・新次長の立場で行うべき業務は、責任をもってしっかり行われたため、幼稚部の運営がよりスムーズになった。 ・学年主任のもと、スムーズに進められていたが、年長の学年は、4月から、主任だった担任の交代があったことで、調整が必要な面があった。しかし、次長や、年少フリーで補佐することで、大きな問題はなく終えることができた。
今後の課題	・担任達は、クラスの運営だけでなく園務分掌もあるため、学年ごとの業務と、園務分掌の業務との多忙期が重ならないように配慮していく。
資料	【資料6-1】園務分掌 【資料6-2】委員会・会議
2023年度の取組目標	・みんなで助け合うことの大切さと必要性を、引き続き次長と共に行動で示していくと共に、互いに協力しあう温かい雰囲気を、全教職員で作っていく。

6-③	・各種文書や個人情報などの幼稚部が保有する情報が適切に管理されるとともに、情報の取り扱い方針が教職員に周知されているか。
2022年度の 取組目標	・教員免許だけでなく、各種文書や個人情報を新次長と部長（園長）とで、適切に管理していく。
達成状況	A：十分達成 B：概ね達成 C：やや未達成 D：未達成
達成状況の 理由 （目標に対する取組内容と成果）	・次長のもとで、適切に管理されるようにしたため、問題なく本年度を終えることができた。
今後の課題	・新人教職員が入った時にも、同様に指導をし、各種文書や情報が適切に管理されるようにしていく。
2023年度の 取組目標	・全教職員に、個人情報をしっかり管理するという意識を持ってもらうよう、必要に応じて、次長と共に指導する。

7. 研修（資質向上の取組）

7-①	・全教員による保育研究会を行うことや、保育研究を継続的に実施することなどを通じ、指導改善に幼稚部全体で取り組んでいるか。
2022年度の取組目標	・「季節と子どもの発達に応じた園庭の環境について考える」というテーマで園内研修を行い、全教員で保育実践にいかしていく。
達成状況	A：十分達成 B：概ね達成 C：やや未達成 D：未達成
達成状況の理由 （目標に対する取組内容と成果）	・より良い園庭の環境について、全教員で学び合い、振り返りをしながら、日々の保育の中に生かしていくことができた。
今後の課題	・それぞれの学年や未就園児クラス子どもたちが、互いに育ちあうようにするために、どのようにしたら良いかを出し合い、園内研修テーマとしていく。
資料	【資料7-1】研究
2023年度の取組目標	・すみれクラス、たんぼぼクラス、園児たちとのより良い交流の在り方を探り、園庭を有効に使う。

7-②	・園内研修・園外研修の課題が適切に設定され、実施されているとともに、教職員が積極的に園内研修・園外研修に参加しているか。
2022年度の取組目標	・園内研修のテーマを「季節と子どもの発達段階に応じた園庭の環境について考える」とし、より良い園庭の環境について学び合っていく。
達成状況	A：十分達成 B：概ね達成 C：やや未達成 D：未達成
達成状況の理由 （目標に対する取組内容と成果）	・全教員で、上記のテーマについて園内研修を行い、その研修内容や実践記録を「緑苑」に掲載することができた。
今後の課題	・コロナ禍が収まっていくことで、対面の研修会も増えていくことが予想されるため、互いに協力しあいながら、時間を作りあって、園外研修に参加する体制を作っていく。

資料	【資料7-2】園外研修
2023年度の 取組目標	・各教員が、教育者としての質を高めるために、園外研修に積極的に参加できるようにし、学んだことを共有しあう時間も工夫して取りあっていく。

7-③	・部長（園長）等の管理職が定期的に保育観察を行い、教員の指導の状況を的確に把握するとともに、教員に対して適切な指導・助言をしているか。また、指導が不適切な教員への対応が適切になされているか。
2022年度の 取組目標	・全教員が意欲をもって保育実践ができるように、新次長と共に協力し合って指導にあたる。
達成状況	A：十分達成 B：概ね達成 C：やや未達成 D：未達成
達成状況の 理由 （目標に対する取組内容と成果）	・次長が保育業務を行いながら、必要な教員にその都度、指導・助言をしていたが、なかなか変化が見られない教員もいた。 ・教員の得意な分野を発揮してもらえよう、職員体制も組んだが、個人の能力の限界があつて、難しさがあつた。
今後の課題	・反省すべき点を見直して、職員体制を組み、どの教員も、意欲的に教員としての職務を果たせるようにする。
2023年度の 取組目標	・主任となる教員を中心として、各学年がまとまってより良い教育を進めていける体制を取り、必要に応じて、次長と共に適切な指導・助言を行っていく。

8. 保護者・地域社会等との連携

8-①	・保護者が幼稚部に協力できる体制（教育ボランティア等）を整えているか。
2022年度の 取組目標	・新型コロナウイルス感染症拡大防止に努めながら、可能な限り、保護者の活動を再開していくようにする。
達成状況	A：十分達成 B：概ね達成 C：やや未達成 D：未達成
達成状況の 理由 （目標に対 する取組内 容と成果）	・新型コロナウイルス感染症拡大状況を見ながら、必要に応じて、少しずつボランティア活動（クローバーの会、しおりの会など）を再開させていったが、全くできなかった活動もあった。
今後の課題	・新型コロナウイルス感染症の流行が収まる状況になってきているため、可能なものから再開していく。
資料	【資料8-1】保護者会等の活動
2023年度の 取組目標	・ボランティア活動のより良い在り方を見直した上で、これまでの活動を再開させる。

8-②	・園公開を定期的実施しているか。
2022年度の 取組目標	・園公開をすることで、幼稚部の良さを更に伝えられるように、内容を工夫して行う。
達成状況	A：十分達成 B：概ね達成 C：やや未達成 D：未達成
達成状況の 理由 （目標に対 する取組内 容と成果）	・新型コロナウイルス感染症の流行が収まらなかったことで、園公開は、作品展のときしかできなかったのが残念だった。
今後の課題	・園公開の機会を可能な限り探り、計画していく。
資料	【資料8-2】園公開
2023年度の 取組目標	・行事のみならず、園庭開放など、気軽に園に入って頂く機会を積極的に計画し、実践していく。

8-③	・保護者の幼稚部への満足度や要望を把握するための取組を行っているか。また、教育相談体制を整備し、保護者から寄せられた具体的な意見や要望に、適切に対応しているか。
2022年度の取組目標	・全教職員で、保護者の思いや意見を誠実に受け止め、保育に生かしていく。
達成状況	A：十分達成 B：概ね達成 C：やや未達成 D：未達成
達成状況の理由 (目標に対する取組内容と成果)	・保護者には、行事後に必ず感想を書いてもらい、懇談時には、保護者の要望や意見を積極的に聞くようにしたため、保護者の思いを把握し、保育に生かしていくことができた。また、保護者の満足度も、確認することができた。
今後の課題	・保護者の集まる機会には、可能な限り、保護者が思いを話すことができるようにし、誠実に受け止めていく。
資料	【資料8-3】保護者へのアンケート 【資料8-4】保護者全体会・懇談会・個人面談
2023年度の取組目標	・どのようなことであっても、保護者の思いや要望には耳を傾け、全教職員でそのことを共有しあって、適切に対応していく。

8-④	・園便りや学級便りの発行など、保護者を対象とした情報の伝達・公開が適切に行われているか。
2022年度の取組目標	・伝える内容に応じて、便りやメールを選択し、確実に伝わっているか確認を行う。
達成状況	A：十分達成 B：概ね達成 C：やや未達成 D：未達成
達成状況の理由 (目標に対する取組内容と成果)	・内容に応じて、メールや便りを選択し、適切に伝えることができた。
今後の課題	・個人の読み取り方で、内容が正しく伝わらない時もあったため、表現の仕方に十分注意が必要である。
資料	【資料8-5】保護者への情報発信
2023年度の	・本年度から導入の「コドモン」を有効に使い、確認のチェックをしながら、情報が正

取組目標	しく伝わるように流していく。
------	----------------

8-⑤	・預かり保育の受入れ体制が十分に整っていると同時に、預かり保育の実施について、幼稚園の目的、教育課程との関連、園児の負担、家庭との連携等への配慮が適切になされているか。
2022年度の取組目標	・預かり保育が長時間となる園児にとって、預かり保育の場や時間が負担にならないよう、保護者と随時話し合い、可能な限り配慮していくようにする。
達成状況	A：十分達成 B：概ね達成 C：やや未達成 D：未達成
達成状況の理由 (目標に対する取組内容と成果)	・子どもの様子を見ながら、必要に応じて保護者とも話し合いを重ねていったことで、預かり保育が、子どもの負担にならないように進めていくことができた。 ・保育中での子どもの様子を、担任から預かり保育担当に積極的に話すようにしたこと、子どもに無理のない時間の過ごし方をさせることができた。
今後の課題	・降園後の習い事教室が始まるため、預かり保育と習い事教室が、スムーズにつながっていくような体制を取っていく。
資料	【資料8-6】 預かり保育参加者数
2023年度の取組目標	・預かり保育と習い事教室の子ども様子を担当同士で伝え合い、どちらの時間も、子どもにとって、有意義な時間となるようにする。

8-⑥	・保護者の実情や要望による子育ての支援活動が適切に実施されているか。
2022年度の取組目標	・保護者の思いや要望に寄り添い、子育て支援で、何ができるのかをその都度探り、実現していく。
達成状況	A：十分達成 B：概ね達成 C：やや未達成 D：未達成
達成状況の理由 (目標に対する取組内容と成果)	・コロナ禍で、保護者の話を聞く機会も少なかったため、子育て支援において何が必要とされているかを十分に把握することができなかった。
今後の課題	・保護者が園に来る機会を積極的に作り、その中でさりげなく保護者の思いや要望を把握していくようにする。

資料	【資料8-7】 たんぽぽクラス・すみれクラス在籍者数
2023年度の 取組目標	・保護者と話をする場や時間を意識的に作り、積極的に教員から話しかけていくように、全教員が心掛ける。

8-⑦	・地域の自然や文化財、伝統行事などの教育資源が活用されているか。
2022年度の 取組目標	・近隣に、どのような教育資源があるのかを、改めて教員たちで探り、保育に取り入れていく。
達成状況	A：十分達成 B：概ね達成 C：やや未達成 D：未達成
達成状況の 理由 (目標に対 する取組内 容と成果)	・年長の学年は、近隣の「アースプラザ」に出かけ、見たものを作品展に生かしたり、保護者で住職の方に、「座禅」を指導してもらうなど、保育に生かすことができたが、他の学年は、新型コロナウイルス感染症の問題もあって、ほとんど出かけることはできなかった。
今後の課題	・新型コロナウイルス感染症の流行が収束したら、教員たちで、どのような教育資源があるかを改めて見直し、保育に取り入れるようにする。
資料	【資料8-8】 地域との連携・交流
2023年度の 取組目標	・どの学年も、子どもの興味がより広がるように、近隣に出かける機会を積極的に作っていく。

9. 入試・広報活動（情報提供）

9-①	・幼稚部の教育活動について、説明会の実施、園案内の配布、ホームページの活用など、多様な媒体を用いてわかりやすく、かつ適切な分量で提供されているか。また、園児等の個人情報の保護と積極的な情報提供とのバランスに配慮しているか。
2022年度の取組目標	・ホームページと共に、幼稚部見学の機会を大切にして、幼稚部教育の良さを伝えていく。
達成状況	A：十分達成 B：概ね達成 C：やや未達成 D：未達成
達成状況の理由 （目標に対する取組内容と成果）	・ホームページ閲覧後に、見学に来校した方には、園児の様子や施設内などを案内しながら、幼稚部の良さをしっかりと伝えていくことができたため、ほとんどの方が入園に至った。
今後の課題	・ホームページを見ていない方にも、幼稚部に気軽にきて頂けるような機会を作っていく必要がある。
資料	【資料9-1】公開行事参加者数 【資料9-2】見学会参加世帯数 【資料9-3】説明会参加世帯数 【資料9-4】説明会参加世帯数推移 【資料9-5】入園案内配布数 【資料9-6】月別ホームページアクセス数 【資料9-7】ホームページアクセス数推移
2023年度の取組目標	・地域の方に幼稚部を公開するような機会（園庭開放、子育て相談会、行事公開など）を、全教職員で協力し合って作るようにし、可能なことから、積極的に実施していく。

9-②	・入園検定を公正かつ適切に行っているとともに、入園定員及び収容定員に沿って在籍園児を適切に確保しているか。
2022年度の取組目標	・満2歳児のすみれクラスや2～3歳児のたんぼぼクラスの保育を充実させ、幼稚部への入園が、より確実なものとなるようにする。
達成状況	A：十分達成 B：概ね達成 C：やや未達成 D：未達成
達成状況の理由 （目標に対する取組内容と成果）	・すみれクラスやたんぼぼクラスに入る条件として、幼稚部へ入園するということを定着させたことで、幼稚部への入園が確実になってきた。
今後の課題	・たんぼぼクラスが、幼稚部の施設内で行われるようになるため、他学年との話し合いをしながら施設を活用し、保育内容がより充実するようにする。

資料	【資料9-8】 志願者数及び合格者数 【資料9-9】 入園関連スケジュール 【資料9-10】 たんぽぽクラス入会関連スケジュール
2023年度の 取組目標	・少子化に備え、定員を確保するためにできることを、全教職員で話し合い、工夫し、実践していく。

9-③	・幼稚部の募集力向上における支援が適切に行われているか。
2022年度の 取組目標	・引き続き幼稚部の募集業務補佐と、支援の更なる充実を行う。 ・募集人員充足に向けて、見学会「ようこそその会」や公開行事・説明会等の運営支援や、電話・窓口等での入園希望者対応の充実を図る。
達成状況	A：十分達成 B：概ね達成 C：やや未達成 D：未達成
達成状況の 理由 (目標に対 する取組内 容と成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・見学会「ようこそその会」における受付や駐車場案内等の運営支援を行い、見学会参加者への対応を行った。 ・幼稚部みどり祭（文化祭）は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため来校する保護者の人数を調整しながら実施した。外部への公開も予約制で行われ、これまで同様運営補助を行った。行事の様子は幼稚部のホームページで紹介され、広報の一つとして扱われている。 ・見学会の申込や各種問い合わせに関する電話対応については、丁寧な対応を心掛け、幼稚部の好感度を上げる様尽力した。 ・募集要項については、入園希望者にとって内容が分かりやすくなる様なレイアウトや表現を取り入れ工夫した。 ・募集活動の一つとして、通園バスのルートの新設や駐車場所の見直しを随時行っており、これまで同様順調に運営されている。
今後の課題	・併設校広報の中心である初等・中等教育統括部長や幼稚部管理者との連携を密にし、幼稚部の募集活動の支援充実に努める。
2023年度の 取組目標	・引き続き幼稚部の募集業務補佐と、支援の更なる充実を行う。 ・募集人員充足に向けて、見学会「ようこそその会」や公開行事・説明会等の運営支援や、電話・窓口等での入園希望者対応の充実を図る。

10. 教育環境整備

10-①	・保育内容・生活環境などに対応した施設・設備の整備が行われ、活用等が適切に図られているか。
2022年度の取組目標	・子どもの安全が守られ、保育にも影響のないような時間帯で改修を進めてもらう。
達成状況	A：十分達成 B：概ね達成 C：やや未達成 D：未達成
達成状況の理由 (目標に対する取組内容と成果)	・建築会社や施設課との打合せを、必要に応じて綿密に行ったことで、保育にも影響のない形で改修が終了した。
今後の課題	・保育を進めていく中で、不都合な箇所があれば、即、施設課に相談する体制をとり、適切に活用を図っていく。
資料	【資料10-1】施設・設備
2023年度の取組目標	・改修をした施設・設備の活用の仕方を、全教職員で考え、保育に生かしていく。

10-②	・施設・設備の安全・維持管理のための点検及び整備が行われているか。
2022年度の取組目標	・施設・設備の安全確保、機能維持のため、日常点検・巡回の実施。 ・業者委託業務による計画的な環境整備。 ・創立80周年記念事業として岩瀬キャンパス再整備、カトレア館改修工事を計画している。環境に配慮し、備品・家具の再利用を行う。
達成状況	A：十分達成 B：概ね達成 C：やや未達成 D：未達成
達成状況の理由 (目標に対する取組内容と成果)	・年次、月次、日常の点検により施設・設備の状況を把握し、不具合に対処した。 ・職員の日常作業の他、消防設備、清掃業務、樹木管理、プールの保守点検など業者への委託による環境整備・安全確保等も行った。 ・創立80周年記念事業 カトレア館改修工事において、工事エリアを仮囲いで区画し、園児の安全を確保した。 ・カトレア館1階保育室改修工事、3階未就園児保育室工事を行い、更なる幼稚部園舎の充実を図った。 ・幼稚部門扉に職員室等から遠隔管理できる電気錠、インターホンを設置し、安全性と利便性が向上した。 ・幼稚部の給水方式を受水槽方式に変更し、高架水槽を撤去、受水槽更新工事を行った。 ・カトレア館屋上において塗膜防水層の経年劣化がみられるため、屋上シート防水工事

	<p>を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カトレア館屋上に停電時でも消火活動が行えるように屋内消火栓用非常用発電機を設置した。 ・西校地南側のブロック塀を撤去し、アルミフェンスを設置する安全対策工事を行った。 ・空調設備など設備機器の経年劣化による不具合への対応を行った。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・年次、月次、日常の点検による施設設備の安全管理を継続する。 ・委託業務の内容などが実情に合わせたものになるよう見直しを図る。 ・カトレア館は改修内容を踏まえて、引き続き設備機器・照明などの更新を計画的に進める必要がある。
2023年度の取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備の安全確保、機能維持のため、日常点検・巡回の実施。 ・業者委託業務による計画的な環境整備。 ・設備機器、照明などの計画的な更新。

10-③	・遊具・用具・図書等の整備や園教育の情報化が適切になされているか。
2022年度の取組目標	・担当者を中心にして、全教員で整理整頓を行い、使えるものの把握をきちんと行い、有効に使っていくようにする。
達成状況	A：十分達成 B：概ね達成 C：やや未達成 D：未達成
達成状況の理由 (目標に対する取組内容と成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設課や保護者の手伝いも得て、遊具、用具、図書などの整備を必要に応じて行い、保育に活かしていくことができた。 ・園教育の情報化については、準備を進めてはいたが、実施には至らなかった。
今後の課題	・園教育の情報化を適切に行う為に、大学の情報教育推進室に相談し、より良い形で導入を図っていく。
資料	【資料10-2】教材・教具・遊具 【資料10-3】図書蔵書数
2023年度の取組目標	・本年度から導入する教育施設向けICTサービス、「コドモン」を、全教職員で適切に使いこなし、園運営に活かしていく。

11. 事務支援体制

11-①	・ 幼稚部の教育活動における支援が適切に行われているか。
2022年度の 取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常業務における事務支援体制全体の強化を引き続き図る。 ・ 幼児教育無償化事業を含めた校納金の収納業務を支障なく行う。 ・ 通園バスの運行について、安全かつ正確に行われるよう対応を行う。
達成状況	A：十分達成 B：概ね達成 C：やや未達成 D：未達成
達成状況の 理由 (目標に対 する取組内 容と成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 窓口での来校者対応や電話での各種問合せについては、「窓口は学園の顔」という言葉を常に意識し、適切かつ丁寧な対応に努めた。 ・ 令和元（2019）年度より幼児教育の無償化給付が始まっている。保護者の居住市町村ごとに事務処理を行うためこれまでと同様に煩雑さは否めないが、経理部と協力し適正に処理を行っている。 ・ 令和元（2019）年度より新規に通園バスのコースを玉縄方面へ増設させ、問題なく運行されている。運行ルートや停車場所は随時見直しを行っているが、今後も利用者の利便性や対外的な広報効果を意識し、引き続き対応を図りたい。 ・ 本年度の新入園児の制服採寸において、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため三密（密集・密接・密閉）を避けるべく、人数を時間ごとに制限しながら実施するなどの対応を図り、問題なく行うことができた。
今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後も窓口や電話での対応に関して、適切かつ丁寧な対応を心掛ける。 ・ 幼児教育無償化事業を含めた会計処理全般について、引き続き支障なく行われる様尽力したい。 ・ 通園バスの運行については、登・降園や遠足の送迎、大船キャンパス等への移動手段として利用の機会を増やしているが、更なるバスの有効活用を検討する。
資料	【資料11-1】 保育料等校納金 【資料11-2】 園児一人当たり年間納付金
2023年度の 取組目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常業務における事務支援体制全体の強化を引き続き図る。 ・ 幼児教育無償化事業を含めた校納金の収納業務を支障なく行う。 ・ 通園バスの運行について、安全かつ正確に行われるよう対応を行う。

12. 自己点検・評価

12-①	・自己点検・評価が年に1回以上定期的に実施され、全教職員が関与し、組織的に実施されているか。また、自己点検・評価の結果が具体的な園運営の改善に活用されているか。
2022年度の 取組目標	・温かい職場の雰囲気の中で、教職員一人ひとりが、更に良い仕事をしていこうとする気持ちになるよう、新次長と共に支えていく。
達成状況	A：十分達成 B：概ね達成 C：やや未達成 D：未達成
達成状況の 理由 (目標に対する取組内容と成果)	・職員一人ひとりが、自信をもって仕事をこなしていけるよう、褒めたり、改善点を具体的に示したりすることを、次長と共に行ってきたことで、多くの職員が意欲的に仕事をしようと頑張っていた。
今後の課題	・能力的な問題から、自己点検・評価の結果を十分に生かせない職員もいるため、今後も、個人的に指導を重ねていく必要がある。
2023年度の 取組目標	・全教職員に、自分の持てる力を精一杯発揮してもらい、幼稚部の運営が、よりスムーズに進んでいくよう、教職員の協力体制を強化する。